



## 「1日で楽しむ瑞草区の文化・芸術散歩」

こんにちは。杉並区の交流自治体、韓国ソウル特別市・瑞草区役所の朴賢辰です。  
2025年7月から6か月間の杉並区役所での派遣勤務を終え、現在は再び瑞草区役所の職員として勤務しています。今月号では、1日でゆっくり巡る「瑞草区おすすめコース」をご紹介します。

韓国旅行といえばショッピングやグルメを思い浮かべがちですが、韓国の日常に息づく文化や芸術に触れてみるのもおすすめです。ソウル南部に位置するソウル・瑞草区は、伝統と現代が調和した魅力あふれる街。短い滞在でも深い感動を味わえるスポットが集まっています。

最初の目的地は、韓国の舞台芸術の中心として知られる芸術の殿堂（예술의전당）。クラシック、オペラ、バレエ、美術展など多彩な公演・展示が行われ、建物そのものの美しさも見どころです。そのすぐ隣には、韓国伝統音楽の拠点である国立国楽院（국립국악원）があり、韓国の音色や伝統楽器を間近で体験できます。日本ではなかなか見る機会の少ない国楽公演は、特別な思い出になるでしょう。

続いて、韓国ドラマのロケ地としても登場する瑞草洞法院団地を通り抜け、地下に広がる大型ショッピングモールGOTO MALL（ゴトモール）へ向かいましょう。ファッション、コスメ、生活雑貨まで手頃な価格の商品が揃い、日本からの旅行者にも人気のスポットです。買い物を楽しんだ後は、直結する新世界百貨店で最新トレンドをチェックしたり、フードコートで気軽に韓国料理を味わうのもおすすめです。

1日の締めくくりは、盤浦漢江公園へ。夕暮れに染まる漢江を眺めながら散策すると、都会の中で感じる穏やかさが心地よく広がります。夜になると、世界最長の橋の噴水として知られる盤浦レインボー噴水がスタート。光・水・音楽が織り成す幻想的な夜景は、瑞草区ならではの魅力です。短い1日でも、伝統と現代が共存する瑞草区の魅力をしっかりと味わうことができます。韓国を訪れる際は、杉並区の友好都市である瑞草区をぜひ歩いてみてください。瑞草区の新たな美しさに出会えるはずです。



## 「はじめてのにほんご講座」が始まりました



11月5日から、日本語を学習したことがない外国人住民を対象にした「はじめてのにほんご講座」が始まりました。講座は2026年2月25日まで、毎週月曜日と水曜日に杉並区交流協会会議室で行われます。

講師は「やさしい日本語」の指導経験が豊富な深田先生です。授業は楽しい雰囲気の中、笑顔で交流しながら11人でスタートしました。4か月間で参加者がどのくらい日本語を話せるようになるのか、今から楽しみです。

外国の方が日本語を学ぶ機会はまだ多くありません。この取り組みは、外国人住民にとってとても意味のある学びの場となっています。（広報O）

## 杉並区 子ども日本語学習支援ボランティア養成講座



全6回行われるボランティア養成講座の第4回目のテーマは、「小学生の日本語支援を考える～学びを支えるさまざまな教材」でした。

講師は地域日本語教育コーディネーターの永田さん、受講生は外国にルーツを持つ子どもの学習を支援する「子ども日本語教室」のボランティアを1月から始める20名。

第4期目の講座になるので、永田さんはこれまでのボランティアの方たちが工夫した学習支援の取り組みの豊富な事例を交えながら、さまざまな教材の紹介とその使い方を説明し、子どもと一緒に考える、子どもの実情に合わせて対応するといった大切にしている基本について話されました。ある受講生は、「自分の子どもの中学校にも大勢の外国人生徒が通っていて、彼らの学習支援に関心があったので講座に参加した」とのことでした。（広報S）



QRコードからご覧下さい。



Event Information from SACE

交流イベント情報

# すぎなみ文化交流ニュース

Suginami Cultural Exchange News

第79号  
2026年1月

スギナミ 教류 소식  
杉並的交流消息

発行：一般財団法人 杉並区交流協会

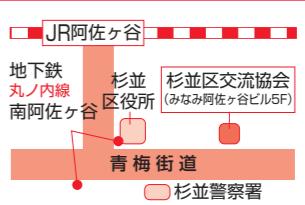
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階

TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail: info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



目 次

まるごと台湾フェアほか

..... 2

五感で感じる交流自治体

..... 3

ソウルの新しい魅力を発見！

「1日で楽しむ瑞草区の文化・芸術散歩」ほか

..... 4

## 第23回 日本語スピーチ大会を開催します

発表者募集 日本語で発表する外国人の方を募集します！

日 時：2026年3月14日(土)

13:30～17:00

場 所：杉並区役所 中棟6階第4会議室  
(杉並区阿佐谷南1-15-1)

対 象：15歳以上で日本語を母語としない方

テ マ：日本に来て感じたこと、自分の国のことなど

募集人数：10人程度

申込方法：申込フォームから

締 切：1月18日(日)



(応募多数の場合は選考し、1月末までにご連絡します)

観覧者募集

入場無料

事前予約制

申込方法：

2月1日からホームページより予約(定員になり次第締め切り)



昨年の様子

がいこくじん むりょうせんもん かそうだんかい  
外国人のための無料専門家相談会

Free Professional Consultation  
for Foreign Residents

ビザ・結婚・離婚・仕事・年金・保険・税金に関する問題について、弁護士などの専門家に無料で相談できます。  
気軽に相談してください。通訳あり。秘密厳守。

★こまっていることを、そعدん

できます。

★よやくしてください。

★ひみつをまもります。

★つうやくが

います。



【日 時】2026年2月7日(土) 13:00～16:00

【場 所】杉並区役所 中棟6階会議室

(杉並区阿佐谷南1-15-1)

【専門家】弁護士、行政書士、税理士、社会保険労務士、臨床心理士(予定)

【通 訳】英語、中国語、ネパール語、ウクライナ語ほか

【申込み】1月25日(日)までにホームページより予約。(電話・メールも可)

日本語スピーチ大会・  
外国人のための無料専門家相談会

問合せ・  
申し込み

一般財団法人 杉並区交流協会

Tel : 03-5378-8833 (平日8:30～17:15)

E-mail : info@suginami-kouryu.org



# まるごと台湾フェア in すぎなみフェスタ

11月8日・9日、桃井はらっぱ公園で開催された「すぎなみフェスタ」にて、恒例の「まるごと台湾フェア」が今年も開催されました。「まるごと台湾フェア」は2013年に始まり、今年で13回目を迎えます。

今回は初の試みとして、台湾の伝統芸術「花文字」のワークショップが行われました。『花文字』とは龍や鳳凰、花や鳥など縁起の良い絵柄を組み合わせて文字を描く芸術で、台湾では昔、お金持ちが病気になった際に絵書きに縁起の良い文字を描かせたことが始まりとされています。

ワークショップでは、小学3年生から大人までが参加し、講師・陽子さんの丁寧な指導のもと、「月」という文字を、鶴や流れ星、竹、満月、ウサギなどのモチーフで表現しました。スポンジ製の筆は水分調整が難しく、参加者は約1時間じっくり練習。本番では力を抜き、筆を立てて左右に運びながら、竹や月を見上げるウサギなどを、愛らしく描き上げました。

台湾茶のワークショップでは、3種類のお茶の飲み比べが行われ、講師からは食べ物との相性や茶器の重要性についての説明があり、参加者は台湾茶の奥深さを体感していました。

グルメ・特産品のブースでは、ネギ焼き、台湾茶、ドライフルーツ、ビーフン、豚のから揚げとレモネードの夜市セット、ホットドッグなどが販売され、どのブースも長い行列ができていました。

そのほかにも、台湾の書籍を集めた本屋ブース、客家文化を紹介するブース、台湾式マッサージの体験ブースなどが並び、来場者は多彩な台湾文化に触れることができました。

夜市遊びコーナーでは、ピン釣りや輪投げなどが行われ、大人も子どもも笑顔で楽しんでいました。

提灯が吊るされ、異国情緒あふれる看板が並ぶその一角は、まるで台湾に来たかのような雰囲気。訪れた人々は、それぞれの形で台湾文化を満喫していました。

(広報 TI)



花文字ワークショップの様子



台湾茶のワークショップ・講師 林さん



夜市ゲーム・ピン釣りの様子



会場の様子

## 外国人のための 防災について学ぼう！

11月13日、外国人住民を対象とした防災体験が杉並消防署で行われ、参加者約40名が参加しました。やさしい日本語や英語、中国語通訳を交えながら、消防署員、消防団員の説明のもと進められました。

参加者は、消火器の使い方、起震車による地震体験、119番通報訓練をグループごとに体験。消防車を間近で見るのが初めてという参加者も多く、熱心に質問したり写真を撮る姿が見られました。

消防隊員の丁寧な指導と、訓練時の迫力ある動きに、参加者からは驚きの声が上がりました。今回の体験は、参加者にとって日本での災害時の行動や日頃の備えの重要性を理解する貴重な機会となりました。



## 五感で感じる 交流自治体 第2弾 新米を羽釜で炊いて食べました！

10月19日 於：杉並区立郷土博物館本館／参加者 15名(7家族)

杉並区の交流自治体・小千谷市（新潟県）の新米コシヒカリを羽釜で炊いて、郷土料理「のっぺ」と一緒にいただきました。子どもたちは薪わりや米とき、のっぺに入れる野菜の準備、小千谷こいこかるた（市内各地区の魅力を紹介するカルタ）にもチャレンジしました。会場が郷土博物館だったこともあり、日本の文化や暮らしをイメージしやすかったようです。

お米は若槻地区で栽培された特別栽培米です。若槻は山あいに棚田が広がる約70世帯の集落です。朝5時に出発し、食材を届けてくださったのは講師の細金創さんと、お料理担当のむつ子さん、君江さん。手際の良さと優しい笑顔が印象的で、伺うと築150年の古民家「おっここの木」の運営に、日頃から携わっているとのことでした。

若槻では過疎化と高齢化が進んでいますが、生まれ育った地を大切にしようと、世代を超えてさまざまな取り組みが行われています。子どもを連れて「おっここの木」に泊まってみたいという参加者に、創さんは「豊かな自然を満喫できる夏場もいいですが、雪で別世界に変わる冬もおすすめです」と話していました。(広報 T)



## 五感で感じる 交流自治体 第3弾 交流自治体へ行ってみよう ~東吾妻町編~

秋も深まった11月30日、11組の親子と東吾妻町（群馬県）へ行ってきました。まずは、2020年の八ツ場ダム完成と同時に廃線となった旧JR吾妻線の一部2.4Kmを自転車型トロッコで走るアガツタン体験。野生の猿を見つけ、渓谷の景色を横目に線路上のサイクリングを25分程楽しみました。コースには3つのトンネルがあります。一番長いトンネルにはイルミネーションがあり、幻想的な雰囲気を楽しめます。もう一つは日本で最も短かった「樽沢トンネル」です。長さは約7.2メートル、大人の足で10歩程度です。松の木を保護するために建設されたと言われています。ゴールは計画から完成まで70年かかったという歴史がある八ツ場ダム、その日はダムの上まで登れませんでしたが、迫力ある風景を体感しました。

それから左手には岩肌が迫りくる絶壁、右手には落葉が始まった景色を眺め、足元で落ち葉を踏みしめつつ渓谷散策をしました。散策途中、東京から移住された地域おこし隊の井上さんから、吾妻川は生物の住めない酸性で、元の色は茶色であることや、毎日5トンの石灰を流し中和していることなど興味深いお話を聞きました。

昼食は杉並区民の保養所「コニファーいわびつ」に移動し、群馬名物の鶏弁当をいただきました。その後は、東吾妻PRカルタとりで盛り上がり、さらにハート形土偶作りのワークショップにも参加しました。東吾妻町では日本で初めてハート形土偶が見つかった場所だそうです。参加者は、見本を参考にしながら粘土をこね、思い思いのデザインの土偶づくりに挑戦しました。オリジナルのハート形土偶は現在、東京国立博物館に大切に保管されています。完成した個性豊かな作品はその場で丁寧に包み持ち帰りました。澄んだ空気と景色を楽しめる東吾妻での秋の行楽を十分楽しみ、帰路につきました。(広報 TI)



## 五感で感じる 交流自治体 第4弾 名寄×小千谷

12月5日、高円寺の「高円寺マシタ」にて、名寄市（北海道）と小千谷市（新潟県）によるもちつき体験などのイベントが開催されました。今回、複数自治体のコラボイベントとしては初めて屋外の広場での開催となりました。

会場は、高円寺駅徒歩1分の人通りの多い場所でした。もちつきが始まると、「餅つきだ！」と聞きつけた多くの人が足を止め、たちまち黒山のような人だかりに。名寄の“もち大使”が、その場でもちつきを披露し、軽妙な解説と司会進行のもと、もちつきのやり方を紹介しました。

その後の試食タイムでは、つきたてのお餅を味わい、「おいしい！」の声があちこちからあがり、来場者の皆さん大満足の様子でした。高円寺でのもちつきは珍しい催しだったこともあり、参加者にとっても印象深い体験となっていました。

また、もちつき体験だけでなく、両自治体の特産品販売や、小千谷市の新米のすくい取り体験なども行われ、“米どころ”としての魅力が感じられるイベントとなりました。(広報 O)

